

自ら学び広める健康習慣

町食生活改善推進員協議会が健康づくり優良団体賞受賞

町食生活改善推進員協議会が、令和3年度熊本県健康づくり功労者知事表彰で健康づくり優良団体賞を受賞しました。

同協議会は平成10年に発足。「私達の健康は私達の手で」をモットーに、現在24人で食と運動について学んだことを実践しながら、家族や友人、近所の人など身近な人たちに伝えていく活動をしています。

倉岡壽雅子^{くらおかすがかこ}会長は、「これからも無理せず楽しめず活動していきたい」と話しました。



西村町長へ受賞を報告した協議会の役員の方々



第4回委員会で審議する委員たち

町立幼稚園のあり方について審議

第4回益城町立幼稚園のあり方検討委員会

6月27日、第4回益城町立幼稚園のあり方検討委員会が開催されました。

委員会で答申の素案について審議した結果、現在2園ある町立幼稚園を統合し、建築年を踏まえ第二幼稚園を廃園する案で意見公募を実施することに決定しました。また、統合の時期について在園児の急激な環境の変化に十分配慮するなど7つの附帯意見が提言されました。

7月22日まで公募した答申素案に対する意見を踏まえ同委員会で再度審議し、町に答申を行う予定です。

みんなで学ぶ 命を守る泳ぎ方

津森小で熊本YMCAによる水泳特別授業

津森小で6月30日、公益財団法人熊本YMCAによる水泳の特別授業が行われました。

「みんな泳げる25m運動」をテーマに、命を守るための泳ぎ方を児童たちに教えるこの授業は、今年で10年目を迎えます。

1・2年生の児童たちは、1つの円を描くようにプール内を歩いた後、笛の合図でプールの縁につかまり、歩いたことで発生した水流を体感。楽しみながら、命を守る方法を学んでいました。



はじめて特別授業を受ける1年生の児童たちも積極的

Pickup Plus+
今月のプラス



答申書を手渡す井田会長

町使用料等審議会(井田貴志^{いだたかのり}会長)は、公共施設における「町が徴収する使用料等の減免の判断基準」について審議結果をまとめ、6月24日、町に答申しました。①スムーズな移行を図ること、②受益者負担の原則を目指し検討を継続することを附帯意見とし、同基準案は適当であるとの答申内容でした。なお、同基準は、令和5年4月から運用が開始されます。